



伊藤小児科・内科医院 病児保育園

おひさまだより

令和4年8月1日発行

横手市婦気大堤字谷地添 7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

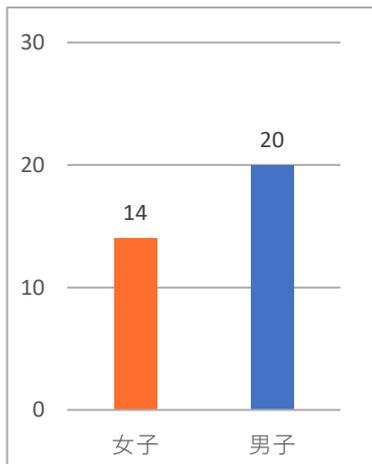


梅雨が明け、カンカン照りの太陽と共に本格的な夏がやってきました。8月は暑さによる体力消耗や生活リズムの変化などから、子ども達が体調を崩しやすい時期です。しっかりと休息を取りながら、身体の変化に気をつけて暑い夏を元気に過ごしていきたいですね。

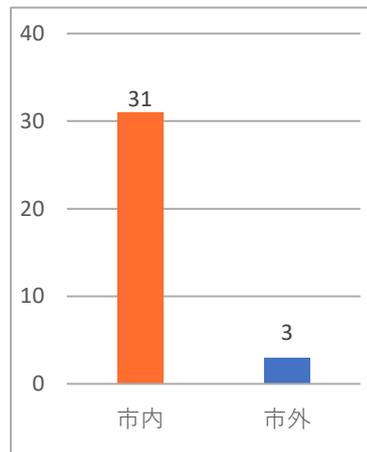
先月の病児保育園のご利用状況と伊藤小児科・内科医院の感染症状況は以下の通りです。どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 7月分

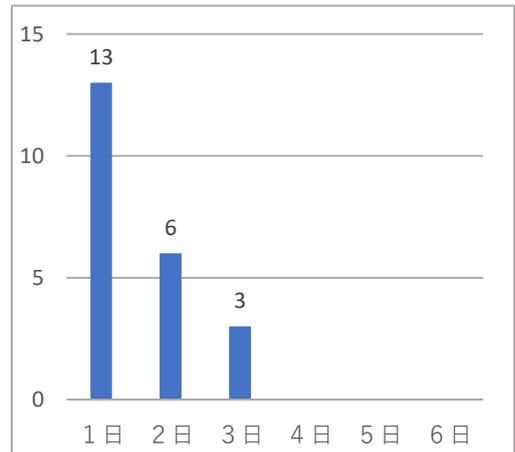
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	5	8	0	1	0	1	2	17
突発性発疹	0	1	0	0	0	0	0	1
手足口病	1	3	0	0	0	0	0	4
胃腸炎	3	0	0	0	2	2	0	7
RSウイルス	0	0	3	0	0	1	0	4
咽頭結膜熱	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	10	12	3	1	2	4	2	34



※ 併発している疾患もすべて含む。

伊藤小児科・内科医院 感染症情報 7月分

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	0	17	5	16	4	42
咽頭結膜熱	0	1	3	2	0	6
溶連菌感染症	0	0	1	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	0	0	1	0	0	1
ノロウイルス	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	1	0	1
合計	0	18	10	19	4	51

熱中症に注意しましょう

熱中症は、高温多湿な環境に長時間いることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が働かなくなることで起きます。乳幼児はおとなより新陳代謝が活発で体温も高いのですが、汗腺の発達が未熟なため体温調節がうまくできません。新型コロナウイルスの流行でマスクの着用が一般的になりましたが、夏場は熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面ではマスクを外すことが推奨されています。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意しましょう。熱中症は室内でも起こります。子どもの顔が赤く、たくさん汗をかいているときは涼しい場所に移動し、水分をこまめにとるなど、早めの対策を心がけましょう。



伊藤先生コラム

夏風邪やRSウイルス感染に注意を

7月に入って、手足口病やヘルパンギーナなどの夏風邪のお子さんが増加しています。また、昨年同様にRSウイルスの流行も見受けられます。

現在、新型コロナウイルスの流行は第7波になっており、第6波以上の拡大となっています。夏風邪やRSウイルス感染症と、新型コロナの症状は区別がつかないことが多く、感染拡大防止のため、早めの抗原検査が必要になります。乳幼児は飛沫感染拡大のリスクがあり、家庭や保育園での検査は勧められませんので、検査ができる医療機関に相談しましょう。